

～新しい教育活動の適正な実施～



恩方中だより

ホームページ <http://hachioji-school.ed.jp/ongtj/>

八王子市立恩方中学校
令和8年2月20日発行
第10号
校長 植田 恭正



見えない支えに感謝し、未来への準備を

二月に入り、先日、まとまった雪が降りました。翌朝、登校前のまだ薄暗い時間に学校へ向かうと、用務員さんが休日にもかかわらず出勤し、校門周辺や通路の雪かきをしてくださっていました。生徒の皆さんが安全に登校できるようにとの思いからの行動です。その姿を見て、学校は多くの方の支えの上に成り立っているのだと改めて実感しました。また、地域の方々も家の前や道路の雪かきをしてくださっており、地域や通学路の安全が守られていました。目立たないところでの働きや、見返りを求めない行動に、心から感謝したいと思います。

一方で、近くの道路では、ノーマルタイヤの車が道路をふさいでいる場面も目にしました。これは大きな事故につながる行為であり、雪道の危険性は事前に繰り返し報道されていました。



この出来事は、「やってはいけないこと」「分かっている」「準備している」ことは違うのだという現実を私たちに示していました。先を見通し、必要な対策をとることの重みを強く感じました。

学校生活も同じです。定期テスト、合唱祭、受験、部活動の大会など、節目となる行事は必ずやってきます。本番直前に慌てるのではなく、日々の積み重ねの中で準備を重ねていくことが大切です。授業への集中、家庭学習の習慣、体調管理、仲間との練習や話し合い、その一つ一つが未来への備えです。今日の小さな努力が、数か月後、数年後の自分を支える力になります。



また、最近のオリンピック中継を見ていて、選手たちの言葉の重みが心に残りました。世界の舞台に立つまでには、自分の考えを貫き、厳しい練習を積み重ねてきたはずです。強い意志と覚悟がなければ到達できない場所です。しかし、競技後のインタビューで語られるのは、支えてくれた家族や仲間、指導者への感謝、一人では何もできなかったという謙虚な気持ち、そしてチームの存在の大きさでした。自分を信じる強さと、周囲に感謝する心と教えられ

たことを素直に受け止め、自分を変えていくこと。それがあってこそ、本当の意味での成長があるのだと感じます。

学校もまた、一つのチームです。一人一人が自分の考えを持ち、自分の役割を果たすことは大切です。しかし同時に、周囲の意見に耳を傾け、支えてくれる人の存在に気づき、感謝する気持ちを忘れないことが、よりよい集団をつくれます。強さと謙虚さは、決して反対のものではありません。むしろ、両立してこそ本当の力になります。

二月は一年のまとめの時期であり、次の学年への準備の時期でもあります。これまでの自分を振り返り、これからの自分を思い描きながら、今できることを丁寧に積み重ねていきましょう。

支え合いながら前に進むチームとして、それぞれが一步ずつ成長していくことを願っています。



校長 植田 恭正

生徒たちの活躍の記録

第59回東京都中学生アンサンブルコンテストで吹奏楽部が銀賞を受賞！



新体制の吹奏楽部がアンサンブルコンテストで銀賞を獲得しました。

アンサンブルコンテストとはそれぞれの楽器の代表が奏でる小編成のバンドで、それぞれの楽器のスキルと2年生メンバー同士の意思疎通や曲想が試されるコンテストです。恩方中学校吹奏楽部は元々が小編成のバンドですので、ここは腕の見せ所。今年度も金賞ラインに近づく審査得点もあり接戦でしたが、金・銀・銅・努力・奨励の中で銀賞獲得となりました。

表現力などの課題も指摘されており、今年の夏のコンクールに向けて良い機会になりました。2年生お疲れ様でした！来年は1年生の出番です。

不登校対策研究校としての第4回研修会を実施



令和7年度八王子市不登校対策研究指定校の認定を恩方中学校は受けており、その第4回研修会を1月28日に実施しました。

講師として、前回同様に東京教育カウンセラー協会 代表 藤川 章先生をお招きして、クラス経営の視点から構成的グループエンカウターの観点からの取り組みについて講義をいただきました。

八王子市に勤務経験もあり恩方地域をはじめとした地域事情にも詳しい藤川先生ならではのクラス経営論を聞いた若手の教員からは驚きとたくさんの学びがあり、充実した研修となりました。不登校の課題については、少子化や社会構造の変化や時代の流れのなかで、年々増加傾向にあるのが現状です。文部科学省としても、学校一辺倒の教育からの転換を求め、学びの多様化が必要との立場に立っています。

しかし、社会性を養うには学校の存在が大変重要で、集団の中でしか学べないことや、社会に出て自立していく際にコミュニケーション能力は大変重要なもので学校の存立意義があると確信しております。多くの子どもたちが笑顔になれる学校づくりを、微力ながら少人数教育が可能な恩方中学校では模索をしていこうと思っています。

生徒会朝礼でいじめ撲滅に向けた取り組みを生徒会が全校生徒に発表！



1 月末に行われた生徒会朝礼では、2 月 28 日(土)に行われる生徒会サミット（ピンクシャツデー）に向けて、恩方小中学校区（恩方中・恩一小・恩二小・元木小）で取り組むいじめ撲滅の報告と動画を用いたプレゼンを行いました。

生徒が3人以上集まればいじめは起こりえる。いじりから始まるいじめ。相手を思いやる気持ちを持つことで、人間関係は大幅に改善します。多くの生徒たちが、生徒会役員の話に耳をしっかりと傾けて、過ごしやすい学校生活になるようにお互いの行動を確認しあいました。あとは実践あるのみです！

仲良くなるための第一歩は相手を知ること！それが国際理解教育です



恩方中学校には、様々なキャリアを持っている先生方が集まっています。3年生は金光学年主任が度々、

今回は国語科で3年生所属の田之倉先生による国際理解教育です。田之倉先生は様々な国で仕事をしていた経験もあり、以前にアフリカにいたことがありました。

こうした経験を生かしてグローバルな時代を生きる生徒たちに生きる力についての講義を行いました。

先日行われた総選挙でも、海外の人々と日本がどのような関係を築くべきか議論がされていましたが、普段、私たちの身の回りでも誰かと仲良くするためには、相手を知ることから始めるものです。相手を知らずして仲良くなることができない。だからこそ海外の人々の文化や生活を知ることが大切なのです。



まもなく恩方中学校を巣立つ3年生たちは、そんな田之倉先生の言葉に耳を傾けながら過ごした1時間となりました。

いよいよ2月突入！卒業アルバム撮影も残すは卒業式のみとなりました！



卒業式まで、あと登校日数は数十日となりました。

最初の写真にあるのは3年生一人ひとりが書いたカウントダウンカレンダー。ここにある友の作ったカレンダーを、3年生はどのような思いで見ているのでしょうか。泣いても笑っても、このメンバーと一緒に居られるのはあと数十日。

3年生の皆さんとの日々はたくさんの思い出があります。いいこともあれば泣いた日や、怒ったこと、笑ったこともありました。先生方はこんな出会いと別れを何十回も繰り返してきましたが、どんな時も忘れた学年はありません。先生という仕事をしていると悲しいかな、別れに自然と強くなります。今年の3年生と出会った3年前に、3年後の別れが決まっていたのですから。

ある歌の歌詞に、「別れは終わりではなく、新しい一歩だ」というフレーズがあります。今、皆さんが感じている寂しさや不安は、ここで過ごした日々が本当に大切だった証で確かな思い出となっているからです。仲間と笑った時間、ぶつかり合ったこと、壁を乗り越えてきた経験も、これから先の人生で必ず皆さんを支えてくれるはずです。残りの日々、一日一日を大切に過ごし、自分の歩んできた道に誇りをもって、新しい未来へ進んでいってください。そして、皆さんも別

れに強くなり、しっかりと前を向いて過去にさよならを告げてください。どんなに良いことも嫌なことも永遠なんてないのですから。先生方は、皆さんの旅立ちを心から応援しています。

後半の写真は卒業アルバム用に撮影したクラス写真です。1・2年生も入学と同時に卒業アルバムの撮影を順次行っています。1・2年生も3年生と過ごした時間を大切に、自分たちの日々も思い出深いものにしていってください。中学校生活は永遠ではありません。



雪の中の中学校英語スピーキングテスト（ESAT-J）



三年生で実施されるテストでは入試得点の一部となる「中学校英語スピーキングテスト（ESAT-J）」の1・2年生向けテストが7日、恩方中学校で実施されました。今年一番の雪まじりの天候となりましたが、生徒たちは将来の受験に向けての前哨戦にもなるテストに真剣に取り組み力を発揮していました。このスピーキングテストが導入された当時は、テスト本番に慣れない生徒が続出し、テスト本番で全く答えられないなどの状況も見られましたが、最近では学校側の対策も浸透し、自信をもって臨めている生徒も増加しています。2年生は11月に入試得点になる本番のテストが行われる予定です。恩方中学校では、今後も授業内でのスピーキング力やリスニング力などの4技能を身につけることや、テスト本番に向けた指導を徹底していききたいと思います。

2月8日に（日）が大雪となり、翌9日（月）は1時間遅れの9時半登校に！



八王子市内には8日（日）の時点で大雪警報が発令され恩方中学校周辺でも10センチ近くの積雪がありました。9日（月）には天候は回復しますが気温が上がらず朝の時点ではマイナス5度以下の予報となっています。つきましては、安全対策として朝の登校は1時間遅れの9時半といたします。道路凍結の危険もあるので自転車での登校はお控えください。また、居住地により状況がかなり異なりますので、朝の9時半に間に合わない場合でも安全第一に行動をするようにお願いします。朝は職員が除雪や通学路点検のため不在となるケースがありお電話でのご連絡はお控えください。欠席連絡はホームアンドスクールまたは後日申告いただければ大丈夫です。ご協力よろしくお願いします。

体育で柔道がスタートしました！



しています。本校は設備や教員の指導を検討し、柔道を選択しています。写真は３年生の授業の
一コマです。

恩方スポーツクラブの代表が元木保育園で放課後ボランティア



職場体験でも毎年生徒の受け入れを行っていただいております。今回の取組にご協力をいただいたこと、心より感謝申し上げます。

令和８年度新入生保護者説明会を実施いたしました！



令和８年度新入生向け保護者説明会を行い昨年の１．５倍の参加者となりました。ご参加いただきました皆様ありがとうございます。当日は校長先生のお話に続き、太田教務主幹教諭から授業や成績評価についての説明がありました。その後は秋守校務支援主幹教諭から生活指導ならびに進路指導についての説明があり、その後に行

われる制服（標準服）ならびに生活関連用品の販売についての説明がありました。13 日までに入学予定連絡票をご提出いただくことになっています。当日欠席された方は、ご連絡いただくか学校まで直接ご提出いただきますようお願い申し上げます。ご不明な点がありましたら副校長までお電話ください。

2 年生が北海道修学旅行の準備を加速！



3 学期に入り、中学 2 年生が今年の 5 月に出発する北海道修学旅行の準備を加速させています。中学校 3 年間の集大成となる修学旅行。全員で最高の思い出と自立した行動になるために、話し合いや準備を行っています。今月に入り、活動の柱となるスローガンも決定し、「絆」をテーマにしたようです。

現 3 年生が高校面接練習を行っている中で、3 年間の思い出の第一位は北海道修学旅行をあげています。北海道苫小牧市立勇払中学校との交流やアイヌ文化と北海道のもつ大自然に感動したことを語っていました。2 年生は 3 年生からのバトンを受け取り、さらなる高みを目指していきます。今後の準備や取り組みを通じて、学びを深め、勇払中との交流も行っていきます。にかかっています。ちなみに 2 年生は、今年と一部行程が異なり、北海道の中心都市である札幌を訪れる予定です。



令和 7 年度 勇払中との交流

第 85 回全国教育美術展において入選しました！



恩方カルチャークラブ（美術）として活動する 2 年の叶々夏さんの作品が、公益財団法人教育美術振興会主催の第 85 回全国教育美術展において入選しました。この美術展は文部科学省などが後援しているもので、日頃の叶さんの努力が認められたものです。作品は木版画の自画像でした。16 日の生徒会朝礼において、校長先生より全校生徒の前で表彰をされました。